

定冠詞 the の用法について — 要約集

2002.11.11

(Last appended: 2012.6.3)

西田 巖

I.Nishida

(Richmond E.S.)

(本資料の趣旨)

普段、英語に接しているときに、ふと不定冠詞 a/an、また、定冠詞 the の用法について疑問に思うことがある。この資料は、このような時、at hand で見返すことによって、the の用法の基本概念の習得を目的にまとめたものである。

しかし、最終項で示すように、冠詞が付く/付かないについては、イディオムや慣用句では一般論では割り切れないものがある。したがって、英語の音読の繰り返しや、できればディクテーションを通じてより自然と身に着けたいものである。

なお本資料をまとめるに当って、下記の資料を参考にした。

- (1) New Handbook of English (研究社)
- (2) ロイヤル英文法 (旺文社)
- (3) 英文法解説 (金子書房)
- (4) 現代英文法講義 (開拓社)
- (5) Longman Dictionary of Contemporary Dictionary.

目次

I. The の基本用法 — その1

1. 前に出た名詞を2度、3度目に使うとき
2. 前後の関係で名詞の指すものの意味が限定されるとき
3. 唯一名もの、またはそう認められるもの

II. The の基本用法 — その2

1. 種族全体を一般的に叙述するとき (the + 単数普通名詞)
2. 総括的な意味を持たせるとき (the + 複数普通名詞)
3. The と形容詞
 - The + 最上級
 - The + 形容詞 (形容詞の名詞用法)
 - The + 比較級

III. 固有名詞と The

1. the をつける固有名詞
2. the をつけない固有名詞

IV. The が付く慣用構文 — その1

1. 体の部位につける <catch + 人 + by + the + 体の部位>の型
2. 単位につける <by the + 単位を表す名詞>の型
3. 楽器名につける
(スポーツ名、勝負事には付けない)
4. 年代を示す twenties などの複数形につける

V. The を付けないもの

1. 本来の目的(勉強のために学校、お祈りのために教会へ行くなど)を意味する場合
2. 病気の名前
3. スポーツ
4. by + 交通・通信手段
5. 毎日の食事の名前
6. 対句をなすもの
7. 季節の名前 (一般的に季節をさすとき)
8. 言語の名前

VI. 冠詞がつく・つかない慣用句

1. the が付く慣用句
2. the の付かない慣用句

I. The の基本用法

次の1, 2, 3については、皆さんのレベルでは説明するまでもなくご存知のことと思います。念のために、例文を挙げておきます。

1. 前に出た名詞を2度、3度目に使うとき

I saw a boy and a girl on my way home. *The boy* had a book and *the girl* had a doll.

2. 前後の関係で名詞の指すものの意味が限定されるとき

I feel cold, please shut *the window*. (= the window of this room)

< 語法注意 >

- (a) Someone stole *the watches* from the drawer. 全部の時計を盗んでいった。
(b) Someone stole watches from the drawer. 一部(*some*)の時計を盗んでいった。

3. 唯一名もの、またはそう認められるもの

(我々の周りに唯一とつしかないと考えられる物の名につける) *the sun, the moon, the earth, the world, the universe, the Bible, the President, the Emperor, the north, the south, the right, the left*

II. The の基本用法 - その2

(本項はややこしいので、下の < II の要約 > を参照のこと)

1. 種族全体を一般的に叙述するとき (*the* + 単数普通名詞) : 総称的用法

「~というもの」種族全体をあらわす。

The horse is a useful animal.

2. 総括的な意味を持たせるとき (*the* + 複数普通名詞) : 総括的用法

名詞全体を総括して表現。

The Germans are good workers. (ドイツ人は<国民全体が>勤勉だ)

(注) *Germans* are good workers.

<全体として>ドイツ人は勤勉だ。<別に、怠け者の個人がいても構わない>

The five of us agreed. (5人全員が賛成した)

(注) *Five of us* agreed. (我々のうち5人が賛成した)

< II の要約 >

種類全体を表す用法 (総称用法) として、次の3つの形式がある。

(a) 無冠詞複数形 *Horses* are friendly animals.

(b) a(an)+単数形 A horse is a friendly animal.

(c) *the* + 単数形 The horse is a friendly animal.

(a)の用法がもっとも普通である。一般的に言う場合は、名詞・複数形の使用がよい。

I like apples. (X: I like an apple)

I like reading books. (X: I like reading a book.)

3. The と形容詞 — 説明略

The + 最上級 + 名詞

<形容詞が後の名詞を修飾する限定用法の時は、the がつき、 叙述的（補語）であるときは the はつかない。>

ex. This is the tallest building in the city. → tallest は限定用法

The rain was heaviest then. → heaviest は叙述的用法

The + 形容詞 (形容詞の名詞用法)

The poor, the rich, the blind, the disabled, etc

The + 比較級

III. 固有名詞と The

普通は、固有名詞には the はつかない。しかし、the をつける固有名詞もあるのでややこしくなる。普段の、何回も音読リーディングの繰返しを通じて慣れで覚えることしかないであろう。(英米人にとっても、固有名詞と定冠詞との関係は複雑で、決して簡単なことでない。← 「英文法解説」(江川))

1. the をつける固有名詞

(1)河川・海洋： The Thames, the Pacific, the sea of Japan

(2) (複数形で表す) 山脈・群島： the Alps, the Rockies, the Himalayas, the Philippines, the Marianas

(注： 単独の山や島の場合は 無冠詞)

(3)海峡・半島： the English Channel, the Izu Peninsula

(4)運河： the Suez Canal, the Panama Canal

(5)砂漠： the Sahara

(6)船舶： the Mayflower, the Titanic

(7)官公庁、大使館： the Ministry of Foreign Affairs, the University of Tokyo

(8)博物館・図書館・劇場など： the British Museum, the Hibiya Library, the Globe Theater

(9)新聞・雑誌： The Times, The Economist

(10)団体名： the Liberal Democratic Party, the Red Cross Society

(11) the を付ける国名： (一般に国名は無冠詞であるが、下記の国名には the が付く)

the US (the United States of America),

the UK (the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland),

the Netherlands, the Philippines, the Moldives

<注1： 綴りの形が s がつき複数形のようにになっている（実際は単数）国の場合>

<注2： 中国を China という場合は、 the はつけない。しかし、正式に

The People's Republic of China という場合は the を付ける。考え方は、 of 以下の句によって、（あの） Republic と唯一的に同定されるからである。

同じ考え方は、

Tokyo University → the University of Tokyo にも当てはまる。

2. the の付かない固有名詞

一般に、（正式でなく普通にいう場合の）国名、大陸、州、県、都市、山、湖、島、岬、公園、広場、駅、橋、学校、街路、（空）港などは the をつけない。

China, Europe, California, Niigata Prefecture, Mount Fuji, Lake Biwa（注： of を使うと、 the lake of Biwa となる）、 etc

（解説： 公園・駅・橋などに the をつけない理由として、これらが人々の毎日の生活に密着しているからということがあげられる。つまり、同じ固有名詞でも、日常の生活で人々が口にする頻度の高いものほどだんだん the をつけない傾向がある ← 「英文法解説」（江川）

<憶え方>

「こえはがみがみ（声はガミガミ）」……公園、駅、橋、街路、湖、学校、港（空港）

IV. The が付く慣用構文 — その1

1. <catch + 人 + by + the + 体の部位>の型

He caught me *by the arm*.

She seized the child *by the neck*.

2. <by the + 単位を表す名詞>の型

We are paid *by the week*.

We buy sugar *by the pound*.

3. 楽器名につける

（スポーツ名、勝負事には付けない）

He plays *the guitar*.

She plays *the violin*.

4. 年代を示す twenties などの複数形に付ける

In *the sixties* there was remarkable economic growth in Japan.

V. The を付けないもの

(注： 上記の III.2. the の付かない固有名詞 も参照のこと)

1. 本来の目的(勉強のために学校、お祈りのために教会へ行くなど)を意味する場合

He goes to school. 彼は(勉強しに)学校へ行く。

He is still in bed. 彼はまだ寝ている。

She is still in hospital. 彼女はまだ入院中。

He takes(leaves) office. 彼は就任(辞職)する。

2. 病気の名前

He died of leukemia. 彼は白血病で死んだ。

He suffers AIDS. 彼はエイズを患っている。

(注： 次のような普通加算名詞は、不定冠詞の a が付く。 A headache, a stomachache, (have) a cold)

3. スポーツ

競技、勝負事などには the を付けない。

He plays tennis. We play baseball

4. by + 交通・通信手段

I returned home by taxi. Please contact me by telephone.

I go to school by bus. Please send this letter (by) airmail.

5. 毎日の食事の名前

We have breakfast at seven. Dinner is ready

6. 対句をなすもの

We work day and night.

The couple was walking side by side.

The discussion went on hour after hour.

7. 季節の名前 (一般的に季節をさすとき)

I often catch a cold in winter.

(注：特定の季節に言及するときは the をつける。 It happened in the summer of 2002.)

8. 言語の名前

He can speak Greek.

VI. 冠詞がつく・つかない慣用句

慣用句やイディオムで **the** が付く/付かないは基本的には、繰り返し音読の習慣を通じて自然と身に着けざるを得ないであろう。

1. **the** が付く慣用句

at the expense of (～を犠牲にして) , **by the way** (ところで) , **in the morning/evening**
from the beginning (初めから) , **on the contrary** (それどころか)
などなど無数にあり

2. **the** の付かない慣用句

at dawn (夜明けに) , **at night** (夜に) , **by chance** (偶然に)
in general (概して) , **on hand** (手元に) , **take place** (起こる)
などなど無数にあり

(以上、© by I.Nishida)